行政・業界版

無電柱化推進計画骨子
街路など原則地中化
国交省

国土交通省はこのほど、新たな電線類地中化計画となる「無電柱化推進計画」の骨子をまとめた。都市部のバイパス事業や街路事業、土地区画整理、バリアフリー化事業などを行う場合は、原則的に電線共同溝などを同時施工する。また、従来より浅くコンパクトに埋設できる浅層埋設方式を標準化する。今後地方ブロック会議で地方や電線管理者らの意見を聴取、15年度内に16～20年度の5カ年を目標期間とする計画を作る。

行政や電線管理者らの財政事情の厳しさを補うため、コスト縮減が可能となる手法を、より取り込んでいく。

具体的には、▽都市部のバイパス▽拡幅事業▽街路事業▽土地区画整理▽市街地再開発▽バリアフリー化事業―に合わせ、電線共同溝などを原則的に同時施工する。また、従来と比べコンパクトな浅層埋設方式を標準化し、掘削埋め戻し土量の削減などで2割程度のコストを縮減する。

歴史的街並みや良好な都市・住環境を形成すべき地区では、主要な非幹線道路でも、軒下配線や裏配線などの手法も導入し、無電柱化を進めていく。

特に、商業地域やオフィス街、駅周辺、住居地域の幹線道路、歴史的街並み、バリアフリー重点整備地区（特定経路）、土地区画整理・市街地再開発事業地区では、「電線共同溝方式」を基本とする。そのほかの地域は、電線共同溝のほか自治体管路や単独地中化方式なども使う。

今後、全国10ブロックごとに、道路管理者や電線管理者、地方公共団体らで構成する電線類地中化協議会で、具体的な目標値などを盛り込む計画を詰める。

電線類地中化事業は、昭和61年度に第1期5カ年計画をスタート。10年度までに、大規模商業系地域の駅前などの3400㍍の地中化を完了した。現在は11～15年度の新電線類地中化計画に基づき、対象を中規模程度の商業系地域や住居系地域に拡大。5年間で3000㍍の整備に取り組んでいる。

CADデータ交換標準・SXF
自動数量計算等追加した仕様公開
JACIC

日本建設情報総合センター（JACIC）はこのほど、CADデータを交換する際の標準形式であるSXFに、図面からの自動数量計算などの機能を追加したVer3・0の技術仕様書などを公開した。CADソフトベンダーが、同仕様に基づいてソフトの開発を求めるが、実際に製品化されるまでは時間が掛かる見込みだ。

SXFの開発は、JACICの建設情報標準化委員会のCADデータ交換小委員会（委員長・寺井達夫千葉工大教授）が進めている。今回のVer3・0では、図面を構成する線や文字などの属性データを追加するなどの機能強化を図った。

STEP／AP202規約に則った「p21」形式と、国内のCADデータ交換を想定した簡易な形式である「sfc」がある。このうちp21は、国土交通省が電子納品の際のCADデータの納品仕様として採用している。

小委員会では、SXFの機能向上を段階的に推進。現在は、2次元製図データの要求を満たし、再利用時の使い勝手を確保する「レベル2」段階のバージョンアップしており、今回のVer3・0では、図面を構成する線や文字などの属性データを追加するなどの機能強化を図った。

具体的には、国土交通省のCAD製図基準案で定めている図面表題欄から、電子納品管理ファイルへのデータの自動転移が可能。また、特定の設計条件からの図形の自動生成や更新、図面からの自動数量計算もできるという。これにより、例えば、切盛土の断面積や計画高などの属性情報をCADデータに添付しておけば、他のソフトにデータを渡しても、そこから土量の計算ができるほか、計算が変更されても再計算が可能になる。

さらに、属性情報は図面情報と分かれているため、エクセルなどの他のソフトウエアでも、属性データからの数量集計が可能。

Ver3・0の技術仕様書などは、属性データの交換の仕組みのみを定めている。このためJACICでは、土木や測量といった分野ごとに属性の項目・内容を定めるよう専門家や業界団体などに依頼する。

Ver3・0に対応したCADソフトの開発は、分野ごとの属性の検討状況を踏まえて行うため、製品化は1年以上先になる見込だ。

Ver3・0の技術仕様書など各種ファイルはホームページからダウンロード可。なお今回公表ファイルのうち、ソフトウエア開発を容易にする共通基盤ソフトウェア（共通ライブラリ）は、sfc形式を対象にしたもので、p21の共通ライブラリは、sfc形式を対象にしたものを作成する。

設備KISS今秋オープン
データ登録を呼びかけ
日本建材産業協会

日本建材産業協会（瀬谷博道会長）は、建材の電子カタログ的なデータベース「建材インフォメーションサービスシステム（KISS）」の設備部門を今秋にオープンさせる。このため、現在、関係企業に対してKISSへの入会、データ登録を広く呼びかけている。

KISSについては、国土交通省が15年度の直轄営繕事業10件で試行活用を決め、6月30日付けで各地方整備局に対して実施するよう通達している。これら対象工事では、仕上げ、建具を対象に活用するが、第4四半期からは設備や構造材も対象範囲に広げる予定という。

こうした動きを踏まえて、協会では建材商品データの一層の充実とともに、設備KISSの今秋オープンを目指して、電気設備、機械設備の個機材データベースの構築と、関係企業計118社の社長、電子商取引担当責任者に対して「国土交通省営繕事業でのKISS活用に向けての貴社製品のご登録について」と題した要請文を送付、KISSへの入会、データ登録を呼びかけた。

さらに、KISSに協力している日本建築家協会（JIA）、建築業協会（BCS）の会員事務所、企業の関係先にもPRしてもらうよう要請している。

このため、ユーザー実務委員会WGに参画している電気、空調、衛生の

建築・建設関連で3展示会
10月22～24日、東京ビッグサイトで

「建築／建設の新技術・情報展 A／E／CSYSTEMS JAPAN2003」「すまい・建築・都市の環境展 エコビルド21－2003 建築な建築Ⅲ」の三つの展示会が10月22日から24日までの3日間、東京都江東区の東京ビッグサイトで開かれる。また、3展共催で建築家の安藤忠雄氏の特別講演「建築に夢を見た」や、ル・コルビジュエ展も企画している。入場料は3展共通で1000円（事前登録は無料）。

日事連・JIA・日建士連
来月から10月に全国大会

日本建築士事務所協会連合会（日事連、小川圭一会長）、日本建築家協会（JIA、大宇根弘司会長）、日本建築士会連合会（日建士連、宮本忠長会長）の建築関係3団体は、9月から10月にかけてそれぞれ全国大会を開く。各団体が設定した大会テーマには、「自然」「水」など環境にかかわるキーワードがちりばめられ、これに関連するさまざまなイベントも予定されている。

各団体の大会概要は次の通り。

【日本建築士事務所協会連合会】

「自然と織りなす未来の建築」をテーマに9月25日から27日までの3日間、奈良県奈良市のなら100年会館で開催する。

式典では、建築作品表彰や、単位会の発展に貢献があった会員に対する表彰、大会宣言などを行う。また、大学模擬コンペ、建築士会連合会「ひむかで誓う建築と自然の共生」をテーマに10月24日から26日までの3日間、宮崎県の宮崎シーガイアで開催。

大会式典では、作品賞表彰、連合会長表彰、伝統技能者表彰などを行うとともに、大会アピールを採択する。

また、大会行事として、専攻建築士制度の疑問点を解消するための「ラストチャンス！専攻建築士制度スタートへの一問一答」、ITと建築士業務のかかわりを紹介する「ITで見えてくる建築士のこれから」、建築士会「木造塾」による「木造住宅の現在と未来を考える」といった各種セッションを行う。さらに、各単位士会やNPOなどがそれぞれの活動事業を展示する

【日本建築家協会】

大会テーマは「水と暮らしと建築―建築家は地域の創造にどう関わるか」。滋賀県大津市の琵琶湖ホテルを主会場に、10月10日から12日までの3日間開催。式典では、大学模擬コンペ、建築家賞表彰、単位会の発展に貢献した会員に対する表彰、大会宣言などを行う。また、大学模擬コンペ、建築家賞表彰、単位会の発展に貢献した会員に対する表彰、大会宣言などを行う。

このほか、まちづくりや環境などテーマごとにセミナーを実施する。

壁掛式浴室暖房換気乾燥機
ドライホット
ガス温水タイプ
取り付けかんたん！
衣類乾燥もおまかせ！

ひと・ゆめ・暮らし　日本ガス
鹿児島市中央町8－2
(099)250-5127

"真心とほほ笑みと"をモットーに心より御奉仕致します。
南日本家具工芸株式会社
婚礼家具，造作家具，増改築，ジュータン
カーテン，他，家具総合卸
鹿児島市東開町13－30
TEL (099)269-7111
FAX (099)268-0385